

未来志向スウェーデン福祉

札幌でフォーラム 元大使が講演

「地域創造フォーラム北海道」が17日、札幌市中央区のかでる2・7で開かれ、福祉先進国スウェーデンの事例などを参考に福祉や地域活性化策などを考えた。

(佐藤大吾)

北海道医療大(当別町)などの主催。元社会保険庁長官で、元駐スウェーデン大使の渡辺芳樹さん(岩見沢市出身)が「変容する福祉国家スウェーデンの挑戦」と題して講演。「福祉政策の重点を高齢者から子供や子育て世代、障害者に移し、未来志向の社会づくりをしている。そのため出

産離職とは無縁で、子供は全員保育所に入れる」などと説明した。続いて開かれた座談会で、渡辺さんは「西の自治体ほど積極的に東京に顔を出す。道内の地方自治体は道庁に頼りきりで、東京の中枢に顔を出すことが少ない」と指摘した。また北海道総合研究調査

会(札幌)の五十嵐智嘉子理事長は「地方の学生は東京に本社がある企業に就職

したがると、地方の企業が魅力を高める必要性に言及。社会福祉法人ゆうゆう(当別)の大原裕介理事長は「道民の温かい精神をブランド化できれば」などと提言した。フォーク歌手小室等さんによるコンサートもあり、懐かしい曲で会場を盛り上げた。



スウェーデンの福祉政策について講演する渡辺芳樹・元駐スウェーデン大使